

ネット社会



@
ジャパン

留学生

このコーナーでは、日本で学ぶ留学生の投書を月1回掲載しています。第5回のテーマは「ネット社会」。北海道大学大学院に留学している2人の女性の意見を紹介します。

郭仁儀

23

(台湾・北海道大院)

台湾では、無料の公衆無線LANが普及しており、

インターネットの利用環境はとてもよい。う

つむいたままスマートフォン

操作に没頭する人々は「低頭族」と呼ばれ、日本以上に若い人た

リーズ・メンゼン 24

(フランス・北海道大院)

「ネット社会」を強く感じるのは、故郷の家族と、

テレビ電話「スカイプ」で話をするときだ。ネットは人と人をつなぐ。そうしたネット社会の本質を、日本人は忘れていると感じるこ

ちのスマホへの依存度は強いと感じる。

やはり「歩きスマホ」は深刻

な問題だ。日本と比べると、道路を渡りながらの「歩きスマホ」が目立つ。事故につながる恐れ

重要になるだろう。

る。会話や会食中にスマホを操作することは、フランスでは大変失礼な行為だ。

家族のつながり大切に

フランスの若者も、親よりネットに頼る傾向はあるが、日本と比べれば、親との関係が深い

景があるのではないかと。家庭内のつながりを大切しないと、実社会でもネット上でも、人との本当のつながりはできないだろう。

があり、危険なため、罰金を科すべきか否かの議論も行われている。だが、罰則があろうがな

かるうが、時と場所をわきまえ、節度をもってスマホを使うべき

だ。ネット社会に対応しながら公共のマナーを守ることが一層

重要になるだろう。